



3月になりました。アーバンファームのバルコニーではしだれ梅と花モモのピンク色、雲南黄梅の黄色が目立つようになってきました。屋上ではハーデンベルギアの一斉開花まであと少し。人も植物も始まりの季節。気持ちよくスタートをきりたいものですね！

1F畑に3種のナスが登場！

アーバンファームでは、2月から3種類のナスを植えています。緑色の「長緑」、白い実の「味しらかわ」、そして丸くて大きな「賀茂ナス」です。

ナスというと、紫色のものを思い浮かべますが、実は奈良時代より日本各地で栽培されており、その土地で栽培され続けるに従い、色も形もたくさんの品種が生まれました。ところが、よりたくさん採れ、形の揃いのいい品種が生まれると、皆がそのナスを扱うようになり、たくさんあった品種はだいが少なくなってしまいました。ちなみに『一富士二鷹三なすび』は、おめでたい初夢としてよく言われますが、なぜナスが入るのかというと、駿河国(今の静岡県)で高いもの(富士山、その近くにある愛鷹山、初物のナスの値段)を順に挙げたという説が有力です。もともと温暖な駿河国では、江戸時代初期からナスの速成栽培(温室などで暖かくして、より早く栽培、収穫をする方法)が行われており、初物好きな江戸の人々がお金を出しても欲しがった様子が想像できます。現代のビニールやガラスの温室はもちろん、油を含ませ、日が透けるようにした障子紙で覆ったそうです。そんなに昔から旬をずらすことが出来ていたなんて驚きですね。(加藤)



苗を植え込む前のマルチング張りは集中して



3種のナスがついにお目見え

屋上に新名所？りんごのエスパリエ



青い空に映えるやわらかな緑が待ち遠しい

エスパリエとは果樹などを塀や壁に誘引して緑化する手法で、西欧などではよく用いられています。壁に対して水平に仕立てることで通常では生育が難しい環境でも木を据えることが可能になったり、果樹を均一に実らせることができます。

今回、屋上に大きな木があって、そこに自然と人が集うことになったら素敵だな、という思いから計画をしました。場所は入口から出て右側の木枠。爽やかな風に葉をふるわせるりんごの木を下から見上げて心がスッと晴れるなら、その日はきっとスペシャルな一日となるでしょう！(松本)

BEST SHOT

バルコニーの内側にも春！

雪がとけ、温かくなり、梅の開花など春の便りが聞かれるようになりました。バルコニーの内側では春を代表するスイセンやビオラが花開いています。是非アーバンファームで春の訪れを感じてみてくださいね。(米山)



8F東南側



丁寧に剪定が施されたバラ

寒さが緩んでくると動き出すのがバルコニーの樹木。職人さんや担当メンバーによって一本一本剪定と誘引、追肥をされ、春の芽吹きを待っています。剪定により一斉に芽吹き、たくさん花が咲きます。またこの時期の肥料はお礼肥(寒肥)といって、1年間頑張ってくれた植物に、春からの体力をつけてもらう為に行います。今年は向かいのビルの取壊しで南側は日差しがたっぷり。バラに期待です！(加藤)

WHY?

栽培技術

パソナ農援隊の新しい就職支援！検索ワードは「パソナチャレンジファーム」
<http://www.pasona-nouentai.co.jp/index.html> WEBショップ開設！！

パソナチャレンジファーム

検索

第5期Agri-MBA農業ビジネススクール修了式

第5期Agri-MBA農業ビジネススクールが終了しました。

農業を知りビジネスとして捉える、経営感豊かな人材育成を目的として今年も農業ビジネススクールが開催されました。

毎年、様々な経歴をもった受講生の方々が、農業という共通の思いを持って集まっていると思うと、とても素敵だなと思います。

半年間にわたって開講してきました第5期農業ビジネススクール。少しさみしいですが、無事に修了式を迎えることができました。今期も出会いがたくさんありました。そして修了課題もとてもユニークで、今の情勢を取り入れた「私が取り組みたい農業計画」が提案されました。

今回の学びと出会いを是非今後の人生の糧にしていだければと思います。(後藤)



2/15修了式を迎えられた5期生の皆さま

■ご意見・ご感想・見学予約はこちらまで■

株式会社パソナ農援隊

〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4

TEL: 03-6734-1260 / FAX: 03-6734-1269

E-mail: info@pasona-nouentai.co.jp

見学時間: 9:00 - 17:30 (土日祝祭日、年末年始を除く)

【アーバンファーム (管理部門)のおしごと】

《担当業務》

アーバンファーム運営・企画
メンバーの育成

《担当者》 松本 知子

《主なお仕事》

植栽管理は屋上のエディブルガーデンと2・8Fの担当メンバーの管理、フォローを行っています。主に植栽スケジュール計画と一緒に立てたり、季節ごとに变化する室内環境に呼应した対応の改善を行っています。運営では、アーバンファームのPRやメンバーの育成に力を入れています。PR面は、植物が主役のこの場所で皆さんの想像力がかきたてられるような演出を考え、POPなどの説明は最小限のものに抑えています。また、新しい試みとして、エディブルガーデン様式を屋上と2Fで取り入れ、何度お越しいただいても発見があるような仕掛けづくりをしています。

情報発信として、アーバンファーム新聞やツイッターでニュース性のある話題を取り上げたり、グリーンカーテンやお子さん向けのイベントを企画することで、植物の面白さを知っていただくきっかけとなれば良いと考えています。

アーバンファーム事業部のメンバー育成は、私の仕事の中で一番重きを置いているところです。個性豊かなメンバーそれぞれに合ったやり方は何か、上司や同僚たちと相談をしながらいつも模索をしています。朝の元気な挨拶に始まり、コミュニケーションを円滑に図るためにはどうしたら良いか、自分の役割を認識してモチベーションを上げるための方策など、ミッションはいくつもあります。そのためにも自分からまず声をかけ、メンバーとの距離感を縮めることを心がけています。

《お仕事の感想》

この仕事に携わらせていただいているいつも考えることは人は何に感動をするか、ということです。現在アーバンファームは9名で運営・管理を行っています。情報共有やお互いのサポートが密にできるようにミーティングの機会を定期的に設け、少数精鋭で運営していくためのチーム作りを大切にしています。このことは植物を健やかに育てるために、とても重要なことかと思っています。気持ちにゆとりのある人に植物も人も寄り添ってくれます。一人ひとりが優しい気持ちで植物と対峙し、種から思いを込めて育ててゆく。そして元気に育った植物たちから今度は私たちが活力をもらい、お越しいただくお客様や社員の皆さんにその心をお伝えしていく。そこに一番の感動が生まれる気がしています。働く人が魅力的な場所にたくさんの方が集まってくるはず。そう信じて前に進んでいきたいと思っています。



屋上のハーデンベルギアが咲くとアーバンファームに春が訪れる



お子さん向けイベント「お仕事体験」で野菜販売。本物のお金に緊張したかな？

グリーンカーテンのイベント

植物に囲まれたオフィスでチームのメンバーと